

結果の概要

労働力人口

平成 20 年平均の 15 歳以上人口は 630 万 4 千人で、前年に比べ 4 万 3 千人(0.7%)増加しました。このうち、労働力人口は 401 万 8 千人で、前年に比べ 4 万 1 千人(1.0%)増加しました。

労働力人口を男女別にみると、男性は 240 万 8 千人、女性は 161 万人で、前年に比べ男性は 1 万 5 千人(0.6%)、女性は 2 万 6 千人(1.6%)それぞれ増加しました。

(第 1 表参照)

労働力人口比率

労働力人口比率は 63.7%で、前年に比べ 0.2 ポイント上昇しましたが、全国の平成 20 年平均(60.2%)と比べて 3.5 ポイント上回っています。

男女別にみると、男性は 76.3%、女性は 51.2%で、前年に比べ男性は 0.1 ポイント低下し、女性は 0.5 ポイント上昇しました。

(第 1 表、参考表参照)

就業者

平成 20 年平均の就業者数は 390 万 3 千人で、前年に比べ 3 万 4 千人(0.9%)増加しました。

男女別にみると、男性は 234 万 4 千人、女性は 155 万 9 千人で、前年に比べ男性は 1 万 7 千人(0.7%)、女性は 1 万 7 千人(1.1%)それぞれ増加しました。

就業者数の推移を平成 15 年以降についてみると、6 年連続して増加しました。

(表 1、第 1 表参照)

表 1 就業者数の推移（単位：千人、％）

		H15 年	H16 年	H17 年	H18 年	H19 年	H20 年	
男女計	実数	3739	3762	3790	3797	3869	3903	
	対前年	増加数	24	23	28	7	72	34
		増加率	0.6	0.6	0.7	0.2	1.9	0.9
男	実数	2239	2252	2261	2285	2327	2344	
	対前年	増加数	4	13	9	24	42	17
		増加率	0.2	0.6	0.4	1.1	1.8	0.7
女	実数	1500	1510	1529	1511	1542	1559	
	対前年	増加数	20	10	19	△18	31	17
		増加率	1.4	0.7	1.3	△1.2	2.1	1.1

産業別就業者

就業者数を主な産業別で見ると、建設業は29万6千人（うち雇用者23万1千人）、製造業は111万2千人（同105万4千人）、情報通信業は10万1千人（同9万6千人）、運輸業は18万3千人（同17万5千人）、卸売・小売業は64万1千人（同57万6千人）、飲食店・宿泊業は18万4千人（同14万2千人）、医療・福祉は29万6千人（同27万6千人）、サービス業（他に分類されないもの）は55万人（同46万5千人）でした。

前年に比べ、製造業は5千人（0.5%）、情報通信業は1万6千人（18.8%）、運輸業は4千人（2.2%）、飲食店・宿泊業は1万人（5.7%）医療・福祉は1万3千人（4.6%）それぞれ増加しましたが、建設業は5千人（△1.7%）卸売・小売業は1万7千人（△2.6%）それぞれ減少しましたが、サービス業（他に分類されないもの）は増減がありませんでした。

また、産業別の雇用者数を前年と比べると、製造業は7千人（0.7%）、情報通信業は1万3千人（15.7%）、運輸業は3千人（1.7%）飲食店・宿泊業は1千人（0.7%）医療・福祉は1万4千人（5.3%）それぞれ増加しましたが、建設業は1万人（△4.1%）卸売・小売業は7千人（△1.2%）、サービス業（他に分類されないもの）は4千人（△0.9%）それぞれ減少しました。

（表 2、第 1 表参照）

表 2 主な産業別雇用者数（千人、％）

	平成 20 年	増減数	増減率
建設業	231	△10	△4.1
製造業	1054	7	0.7
情報通信業	96	13	15.7
運輸業	175	3	1.7
卸売・小売業	576	△7	△1.2
金融・保険業	75	2	2.7
飲食店、宿泊業	142	1	0.7
医療、福祉	276	14	5.3
教育、学習支援業	134	0	0.0
サービス業（他に分類されないもの）	465	△4	△0.9

完全失業者

平成 20 年平均の完全失業者数は 11 万 5 千人で、前年に比べ 7 千人(6.5%)増加しました。

男女別にみると、男性は 6 万 3 千人、女性は 5 万 1 千人で、前年に比べ男性は 3 千人(△4.5%)減少しましたが、女性は 9 千人(21.4%)増加しました。

また、全国の平成 20 年平均の完全失業者数は 265 万人で、前年に比べ 8 万人(3.1%)増加しました。

(第 1 表、参考表参照)

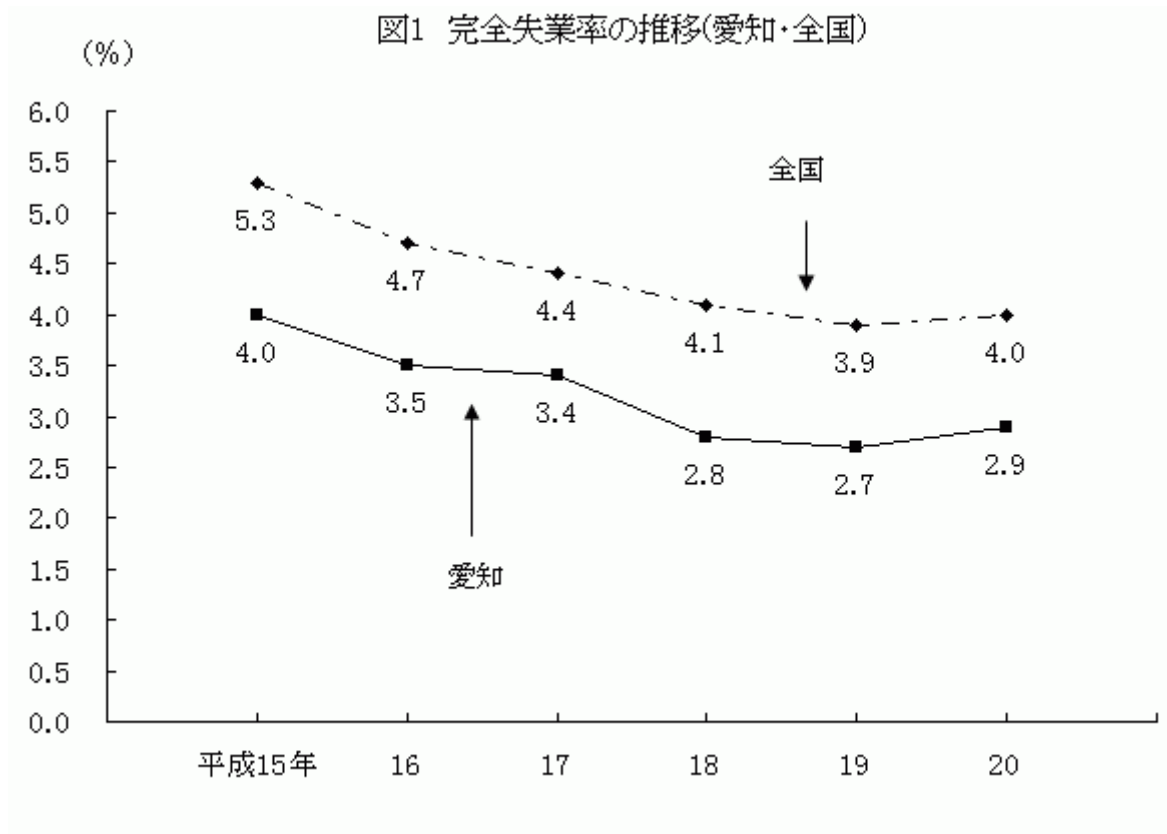
完全失業率

平成 20 年平均の完全失業率は 2.9%で、前年に比べ 0.2 ポイント上昇しました。

男女別にみると、男性は 2.6%、女性は 3.2%で、前年に比べ男性は 0.2 ポイント低下し、女性は 0.5 ポイント上昇しました。

また、全国の平成 20 年平均の完全失業率は 4.0%で、男性は 4.1%、女性は 3.8%となっています。

(図 1、第 1 表、参考表参照)



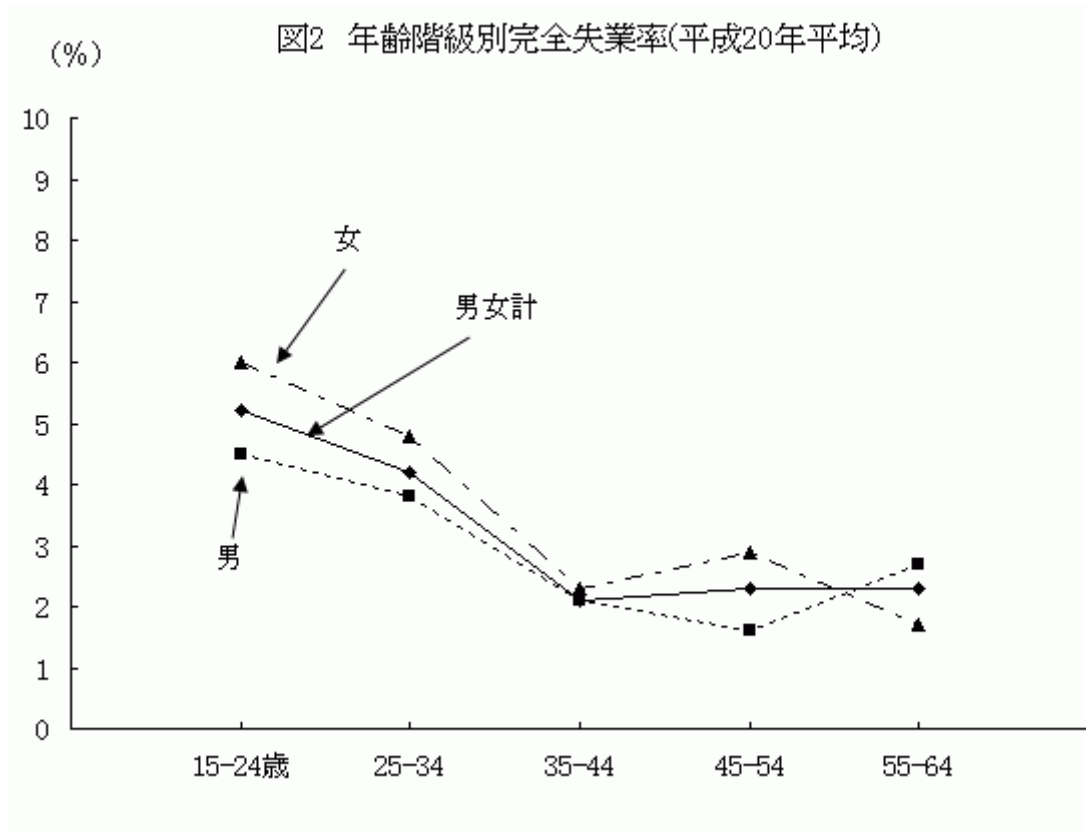
完全失業率を年齢階級別にみると、15～24歳が5.2%と最も高く、次いで25～34歳が4.2%、45～54歳、55～64歳が2.3%、35～44歳が2.1%、の順となっています。

前年と比べると、15～24歳で0.3ポイント低下しましたが、45～54歳で0.6ポイント、25～34歳で0.3ポイント、35～44歳、55～64歳で0.1ポイントそれぞれ上昇しました。

男女別にみると、男性は15～24歳が4.5%で最も高く、次いで25～34歳が3.8%、55～64歳が2.7%、35～44歳が2.1%、45～54歳が1.6%の順となっています。女性は15～24歳が6.0%と最も高く、次いで25～34歳が4.8%、45～54歳が2.9%、35～44歳が2.3%、55～64歳が1.7%の順となっています。

前年と比べると、男性は15～24歳で2.1ポイント低下しましたが、25～34歳で0.3ポイント、35～44歳で0.1ポイントそれぞれ上昇しました。なお、45～54歳、55～64歳では増減がありませんでした。女性は55～64歳で0.1ポイント低下しましたが、15～24歳で1.3ポイント、45～54歳で1.0ポイント、25～34歳、35～44歳で0.3ポイントそれぞれ上昇しました。

(図2、第5表参照)



非労働力人口

平成20年平均の非労働力人口は228万4千人で、前年に比べ3千人(0.1%)増加しました。

男女別にみると、男性は74万8千人、女性は153万6千人で、前年に比べ男性は9千人(1.2%)増加しましたが、女性は6千人(△0.4%)減少しました。

(第1表参照)